

葵製作所が「技術向上プロジェクト」

全社横断で自社製品、ものづくりへ理解深める

総合板金加工工業の葵製作所（東京都八王子市、社長・長谷川薫氏）は7月から8月にかけて



て、全社横断の社内訓練「技術向上プロジェクト2022」に取り組んだ。4人のメンバーが主導し、部署の垣根を超えて自社製品やものづくりに対する理解を深めた。

新型コロナを機に同様の場を設ける中、3回目の今回は2カ月間で週2回、いずれも午前の時間帯にカリキュラムを編成。初めて座学の時間を設け、写真①、工場で対応する加工について講師役の社員からレクチャーを受けた後、課題の小物入れを作り上げた。写真



① 同社では、産業向けが主体の「インダストリー事業」に続き、昨年個人向けの金属加工製品事業「Aoi Products

（アオイプロダクツ）事業」が本格的に始動している。一連のカリキュラムでは、拭き上げや梱包といった出荷前の最終工程までを手がけ、完成品を持ち帰ってユーザーの視点で使い心地を確かめるなどした。

訓練では、副次的な効果としてコミュニケーションの活性化も念頭に置く。長谷川社長は「教える側と教わる側、双方に有意義」とした上で、「今後も継続し、より一体感ある組織づくりにつなげていきたい」と期待を寄せている。

